



# Ⅲ 基本計画

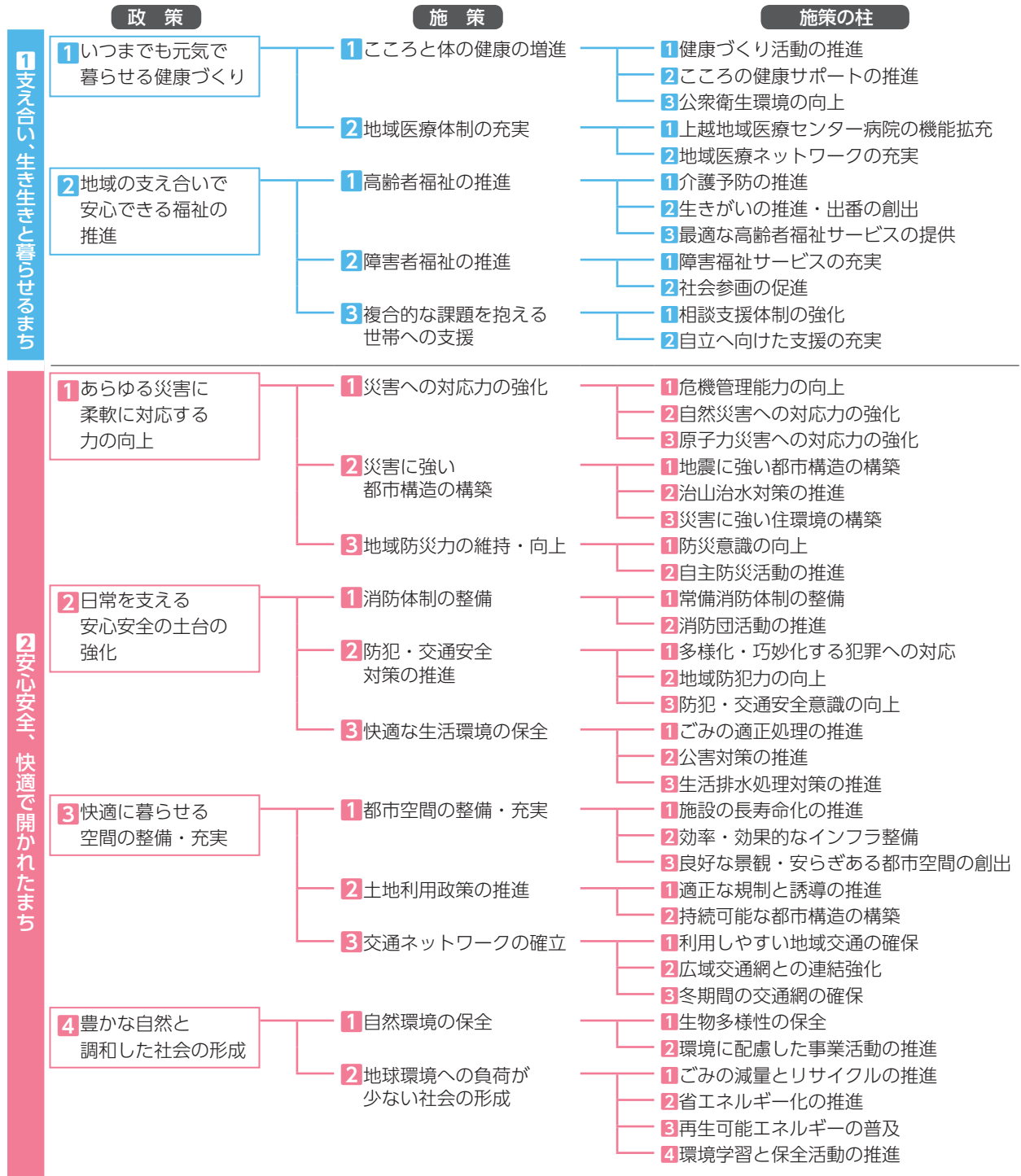
第1章	基本計画の概要	60
第2章	基本目標別施策	64
第3章	重点テーマ	140
第4章	計画の推進に当たって	146



# 第1章 基本計画の概要

## 第1節 基本目標別施策体系一覽

将来都市像の実現に向け、5つの基本目標、14の政策について体系化するとともに、各政策に位置付ける38の施策、98の施策の柱を表しています。



序論

基本構想

基本計画

資料



## 第2章 基本目標別施策

### 基本目標1 支え合い、生き生きと暮らせるまち

#### 1-1-1 心と体の健康の増進

##### ありたい姿

「人生100年時代」において、子どもから高齢者まで全ての人が保たれ、健康寿命<sup>\*</sup>が延伸し、自立した暮らしを送っている

##### 現状

・生活習慣や食生活の乱れから、小児期からの肥満が増加傾向にあるほか、成人男性のメタボリックシンドローム<sup>\*</sup>の該当者が増加しており、糖尿病<sup>\*</sup>や脂質異常症<sup>\*</sup>に高血圧を併せ持つ人の割合が増えています。  
 ・また、脳血管疾患<sup>\*</sup>、心疾患<sup>\*</sup>、腎疾患<sup>\*</sup>等を発症した人のうち、約7割が健診未受診者であるほか、が  
 ・市町村と比較しても低い状況であり、特に若い働き盛り世代においてその傾  
 ・年の自殺死亡者数は年間30～50人で推移しており、自殺予防に向けた地域  
 ・への対応が求められています。  
 ・が全て後期高齢者<sup>\*</sup>となり、医療ニーズの高い高齢者が増え、更なる医療費の  
 ・、近年では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、療養者が多数発  
 生するなど市民生活に様々な影響を及ぼしています。

#### 4 施策の展開に当たり、当市の現状や取り巻く社会経済環境等について記載しています。

##### 目標

・生活習慣病<sup>\*</sup>の発症と重症化が予防されるとともに、早期発見と早期治療が図られています。  
 ・自殺予防について市民が正しい知識を持ち、地域  
 ・医療、福祉、介護サービス等の利用を経済的な負担心して利用することができています。  
 ・感染症による市民生活への影響を最小限に抑えるため、発生・拡大防止に向けた備えが整っています。  
 ・市民の健康寿命が延伸し、一人当たりの医療費の伸びが抑えられています。

#### 5 「ありたい姿」の実現に向け、8年間の取組を進めることにより、達成を目指す具体的な状態を記載しています。また、施策の進捗状況を測る「ものさし」として成果指標を設定しています。

成果指標

項目	現状値	R8 中間目標値	R12 目標値
特定健診 <sup>*</sup> 受診率と特定保健指導 <sup>*</sup> の実施率(国民健康保険加入者)	特定健診受診率 : 41.4% 特定保健指導実施率 : 61.7% (R2)	特定健診受診率 : 53.0% 特定保健指導実施率 : 68.4%	特定健診受診率 : 53.0%以上 特定保健指導実施率 : 68.4%以上 かつR8実績値以上
肥満傾向にある児童(小学校5年生)の割合	13.4% (R4)	12.0%以下	12.0%以下
血液検査の脂質検査の結果の有所見者率(中学生)	21.0% (R3)	21.0%以下	21.0%以下
自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺死亡者数)	24.2 (R3)	15.7以下	15.7以下かつR8実績値以下

1 基本目標と施策の名称を表しています。

2 当該施策が寄与するSDGsのゴールを表しています。

3 市民生活や社会がどのような状態にあることが望ましいかなど、令和22(2040)年頃を目安とする、将来のありたい姿を記載しています。

6 現状を踏まえ、ありたい姿の実現に向けた各取組を進めるに当たっての方向性を記載しています。

施策の柱

1 健康づくり活動の推進

- ・ 疾病の発症と重症化の予防、また、疾病の早期発見・早期治療を図るため、各種予防接種や健康診査、人間ドック等を受診しやすい環境づくりに取り組みます。
- ・ 市民の健康を維持し、予防可能な脳血管疾患\*等により要介護認定を受ける人を減少させるとともに、健康寿命\*\*の延伸を図るため、生涯を通じた切れ目のない生活習慣病\*予防・介護予防の取組を推進します。
- ・ 中小企業を始め、事業所における健康づくりの取組を推進し、働き盛り世代が健診結果と生活習慣との関係性を理解し、自分の健診結果に応じた生活習慣の見直しを図られるよう支援します。
- ・ 障害のある人が必要な医療を受け、健康な毎日を送ることができるよう、手帳の交付時や医療機関の受診時等において医療費助成制度の説明等を行い、確実な利用を支援します。
- ・ 児童生徒が自らの生活習慣を振り返り、見直しや改善を図る学習を支援するほか、自分の体の状況を知るきっかけを提供します。

2 こころの健康サポートの推進

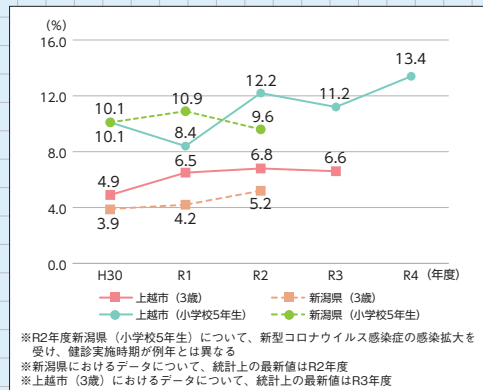
- ・ 自殺を未然に防ぐため、関係機関とのネットワークづくりを推進し、「気づき・傾聴・つなぐ・見守る」体制づくりの活動や、自殺予防研修会の開催、広報上越・市ホームページ等を活用した周知を行い、こころの健康に関する正しい知識の啓発に努めるとともに、悩みを抱える人に寄り添うなど、自殺ハイリスク者\*への対応に取り組みます。

3 公衆衛生環境の向上

- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止に向け、防疫や注意喚起に取り組むとともに、新型インフルエンザ等の市民の生命・健康に重大な影響を与える感染症が発生した際の備えとして、マスクや防護服、消毒液等の備蓄品を確保し、迅速に対応することができるよう取り組む。
- ・ 斎場施設設備の老朽化と将来の火葬需要の増加に対応するため、

7 トピックスとして、関連するデータやグラフ、取組の写真等を掲載しています。

●3歳児(肥満度15%)と小学校5年生(肥満度20%)の肥満傾向



出所:上越市学校教育課、新潟県「母子保健の概況」、新潟県「学校保健統計調査」を基に作成



▲小学校での自らの生活習慣に関する振り返り学習